



さんぽ保健師コラム

(2021年 春暁号)

はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

4月は新年度のスタートでもあり、「清明」と呼ばれる季節の始まりでもあります。

「清明」とは全てのものが清らかで生き生きとする頃のこと、若葉が萌え、花が咲き、生命が輝く季節ともいわれています。

そんな季節の到来に相応しい沖縄県の健康づくりに関する新たな取り組みがスタートしました。

「沖縄県の働き盛り世代に係る健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定」
令和3年3月18日に沖縄県、沖縄労働局、沖縄県医師会、全国健康保険協会（協会けんぽ）沖縄支部、そして当センターの5者で沖縄県の働き盛り世代の健康改善に向けて効果的な対策を連携して進める協定を結びました。<https://www.okinawas.johas.go.jp/topInfo/file/05471.pdf>

かつて健康長寿トップだった沖縄ですが現在は男女共に平均寿命都道府県順位が下がっています。

沖縄の70代以上の高齢者はまだ長寿を保っていますが、働き盛り世代（20代～60代）の死亡率が高いことが健康長寿の足を引っ張っている原因とされています。

また職場の健康診断で何らかの異常があった「有所見率」が9年連続で全国ワースト1となっているのも沖縄県の大きな課題となっています。

未来を担う子供たちのためにも、健康長寿県沖縄県をもう一度取り戻したい。

今回の5者協定がそのスタートであればと願っています。

5者協定では、①企業の「健康経営」 ②心と体の健康の保持増進 ③疾病の重症化予防などが重点事項となっています。

当センターではこれまでも働き盛り世代への心と体の健康づくりと職場の環境改善支援を実施してきましたが、今後は協定を締結した機関と更なる連携を深めて沖縄県の企業の「健康経営」の推進に取り組み健康長寿復活を共に目指していきます。

誰もがいきいきと働ける幸せな社会の実現に向けて、沖縄県の企業の「健康経営」の推進と一緒に取り組んでいきませんか。